

いしかり 市議会だより

No.216

令和5年11月1日発行

発行:北海道石狩市議会 編集:議会広報特別委員会
TEL:0133-72-3181(直通) FAX:0133-75-2280
Eメール:gikai@city.ishikari.hokkaido.jp

石狩アマチュア無線クラブ



▲アンテナ設営の様子



▲パソコンを使ってデジタル無線を運用

こんなことが決まりました	2
一般質問	4
委員会活動だより	15
決算特別委員会	16

市民の皆さまへ

令和5年9月11日に報道がありました、石狩市議会佐藤俊浩議員の強制わいせつ容疑による書類送検につきまして、本市議会を代表して被害者の方に対し心より謝罪申し上げます。

当該議員からは9月13日に辞職願の提出があり、本市議会では同日開催された本会議においてこれを諮り、辞職を許可したところであります。

このたびの市議会議員の書類送検は、市民の皆さまの信頼を大きく失墜させることとなり、多くの方々にご心配とご迷惑をおかけしたことを議員一人一人が大変重く受け止めております。

本市議会といたしましては、二度とこのようなことが起こらないよう、議員一人一人が襟を正し、その職責の重さを改めて自覚した上で職務に努めるとともに、一日も早く信頼回復ができるようにあらゆるハラスメント行為の廃絶に向けて誠心誠意努めてまいります。

皆さまにおかれましては、何とぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

石狩市議会議長 花田 和彦

こんなことが決まりました



第2回臨時会 (8月4日)

傍聴者 なし

令和5年第2回臨時会は、8月4日に開催され、補正予算を審議しました。

◆◆◆ 補正予算 ◆◆◆

令和5年度一般会計の主な補正

- 消防費 3,200万円
- ・石狩北部地区消防事務組合負担金

◆◆◆ 第2回臨時会 議決結果 ◆◆◆

全会一致で決まったこと

- 令和5年度補正予算 ・石狩市一般会計補正予算(第5号)



第3回定例会

(9月5日～22日)

傍聴者 58人

令和5年第3回定例会は、18日間の会期で開催され、補正予算、条例改正などを審議しました。

補正予算

令和5年度一般会計の主な補正

- 総務費 237万6千円
 - ・DX推進事業費
- 民生費 1億2,866万5千円
 - ・子ども医療費助成事業費 など
- 衛生費 2,779万1千円
 - ・出産・子育て応援事業費 など
- 農林水産業費 401万5千円
 - ・経営所得安定対策推進事業費
- 教育費 2,735万円
 - ・浜益区校舎移設事業費 など

令和5年度国民健康保険事業特別会計の主な補正

- 基金積立金 6,129万3千円
 - ・国民健康保険事業運営基金積立金

令和5年度介護保険事業特別会計の主な補正

- 総務費 3億7,845万2千円
 - ・一般管理事務費
 - ・介護認定費

令和5年度介護サービス事業特別会計の主な補正

- サービス事業費 847万4千円
 - ・施設改修事業費

条例の一部改正

- 石狩市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例案

子どもの健康の保持・増進及び子育て世帯への支援のさらなる充実を図るため、子どもの通院に係る医療費の助成対象を「小学6年生まで」から「中学3年生まで」に引き上げるなど所要の改正を行うものです。

- 石狩市空家等対策協議会条例の一部を改正する条例案

「空家等対策の推進に関する特別措置法」の一部改正に伴い、引用する条項について所要の改正を行うものです。

第3回定例会 議決結果

全会一致で決まったこと

- 令和5年度補正予算
 - ・石狩市一般会計補正予算(第6号)
 - ・石狩市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
 - ・石狩市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
 - ・石狩市介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)
- 条例等の一部改正
 - ・石狩市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例案
 - ・石狩市空家等対策協議会条例の一部を改正する条例案
- その他
 - ・町の区域の変更の件
 - ・北海道市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増加及び北海道市町村職員退職手当組合同約の変更について
 - ・石狩市教育委員会委員任命について同意を求める件(根本壽夫氏)
 - ・北石狩公平委員会委員選任について同意を求める件(大塚由明氏、成田祥介氏、日和優人氏)
 - ・石狩市固定資産評価委員会委員選任について同意を求める件(佐藤勉氏)
 - ・石狩市副市長選任について同意を求める件(小鷹雅晴氏)
- 陳情
 - ・特別支援学校の過大過密解消及び特別支援学級の学級編制標準の改善を求める陳情
 - ・国の責任で教職員未配置問題の改善を求める陳情
 - ・国の責任による少人数学級のさらなる前進を求める陳情
- 意見書
 - ・生物多様性の保全・ネイチャーポジティブの対策の強化を求める意見書(案)
 - ・ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書(案)
 - ・ブラッドパッチ療法(硬膜外自家血注入療法)に対する適正な診療上の評価等を求める意見書(案)

会派の態度が分かれたもの

- その他
 - ・財産の減額譲渡の件
 - ・石狩湾新港管理組合議会議員の選挙(日下部勝義氏)

(石政:石政会所属議員8人 公明:公明党所属議員3人 共産:日本共産党所属議員3人 改革:改革市民会議所属議員3人 無:無所属議員1人)
 ※「-」は、採決時に退席したことを示します

石政	公明	共産	改革	無	採決結果
○	○	-	○	○	可決
○	○	-	○	-	可決

一般質問

9月11日

公明党

やまもと ゆみこ

山本 由美子



録画映像配信 ▶



石狩市地域防災計画について

関係者と連携を図り対策を実施

① 高齢者や障がい者など自力での避難が難しい方への個別避難計画の策定を進めるため、市はどのように取り組んでいるのか伺います。

② 災害ケースマネジメントとは被災者一人一人の状況把握した上で課題解消や生活再

【答】 ① 市では令和元年度と2年度に花川南第二町内会

が市と協働で行った個別避難計画に係る取り組みを他の町内会でも広く実施していただくよう3年度に市内全町内会長に周知しており、今後も関係者と連携し計画策定を進めていきます。

② 災害ケースマネジメントは市の関係部局のほか自主防災

建に向けて支援を行う取り組みで、政府は被災経験の少ない自治体でも実施できるよう手引き書を示していますが、本市でもこのマネジメントを市の地域防災計画に位置づけて平時から準備することが重要だと思いますが、考えを伺います。

組織、福祉関係機関、専門知識を有する民間団体などとの連携体制の構築が必要となることから、今後は道の地域防災計画での位置づけを踏まえ、先進自治体の事例も参考にしながら調査研究し、本市にふさわしい体制が整った段階で計画に位置づけていきたいと考えています。

(総務部)

本市の子ども子育て支援について

利用者ニーズに応じた事業を検討

① 市の産後ケア事業には助産師による訪問型と医療機関で心身回復を図る宿泊型があり、両方合わせて5回までという回数制限が設けられています。希望者には利用回数を増やす考えはありませんか。

② 妊娠期から子育て期まで幅

広く利用できるいしかりファミリー・サポート・センターを安定した事業として継続するにはサポート会員のボランティア精神に頼るのではなく、報酬を上げることも必要だと思いますが、考えを伺います。

【答】 ① 産後ケアの利用者には満足度を把握するためにアンケートを実施し回数拡大を希望する意見をいただいていることから、他市町村の状況なども参考にしながら利用者の

ニーズにマッチした事業を検討していきます。

② サポート会員は毎年、新規の登録はあるものの人数が不足しており、今後の安定的確保には報酬である利用料金の

使用済みおむつの持ち帰り状況について

市内全ての認定子ども園で処分を実施

使用済みおむつの持ち帰り状況について

① 厚生労働省は1月、保育所等において使用済みおむつの処分を推奨する通達を各自治体に行いましたが、本市の認定こども園では今でも使用済みおむつを保護者が持ち帰ってい

るのか伺います。

② 現在市内に6カ所ある地域子育て拠点での状況はどうなっていますか。持ち帰りは衛生面で好ましくないため、施設で処分していただませんか。

の認定こども園は使用済みおむつを園で処分しており、保

【答】 ① 保護者と保育士等の負担軽減の観点から、市内全

ての認定こども園は使用済みおむつを園で処分しており、保



▲いしかりファミリー・サポート・センター

引き上げも対策の一つと考えますが、会員や子ども子育て会議などの意見を聞き、受託者ともしっかりと協議しながら慎重に検討していきたいと思います。(保健福祉部)

護者の持ち帰りはありません。② 支援拠点3カ所では処分を行っており、その他3カ所は保護者に持ち帰りのご協力をお願いしていることから今後、施設受託者と協議し、処分実施を検討していきたいと思えます。(保健福祉部)

その他の質問

- 小中学校の不登校対策について
- 認知症基本法について

一般質問

9月11日

日本共産党

はち や たか うみ

蜂谷 高海



録画映像配信 ▶



浜益国保診療所は夜間対応、病床の維持を 存続に向け実態に即した医療の提供を図る

① 浜益国保診療所の夜間診療や病床を来春に終了予定とする体制縮小案が突如、出されました。区民向け説明会では、この計画が決まればここは暮らしていけないなどの悲壮感に満ちた声が上がっており、住民合意が得られたとは到底

思えるものではなかったと考えますが、市の認識を伺います。

② 来年から勤務医に適用される働き方改革とは別に、診療所医師の処遇に配慮しつつ現状の診療体制の維持が必要だと考えますが、市の見解を伺います。

答 ① 今回の診療見直しは2%となっている病床使用率や医師への働き方改革関連法適用等のほか、診療所への来所困難者に向けて在宅医療の一つである訪問看護を強化しようとするもので、区内5カ所で開催した説明会では夜間の診療が無くなることへの不安の声が聞かれた一方で、今後も1年365日、日中の診療が行われることへの安どの声などが寄せられており、

今後も高齢者の多い浜益区の実態に即した地域医療の提供を図っていきたいと思えます。② 医師の働き方に配慮しつつ夜間診療を実施するには他の医療機関から医師の派遣を受けざるを得なく、医師の働き方改革が法適用となる令和6年4月以降は医師の労働環境が改善されることから、夜間診療のための医師派遣を受けることは難しいものと考えています。(浜益支所長)

地域医療の維持のため一案だけでなく体制強化を含めさまざまな検討を行うべきで、例えば救急告示の認定を受け救急病院に指

定されることで交付税措置が受けられるほか、現在の交付金や支所加算を使って十分可能となると考えますが、いかがですか。

再答弁 今回の見直しは当診療所のあり方や存続のための

提案であることをご理解いただきたいと思います。また、厚

公共施設へ冷房装置の早期整備を まずは保健室にエアコン設置を検討

今年の北海道は異常な暑さが続き市内の小学校では教室内が35度に達し臨時休校等の措置が取られました。市民の健康や命を考えたとき特に気

温の影響を受けやすい年齢層が利用する保育所、小中学校、高齢者施設へ優先的に冷房装置を整備する必要があると考えますが、見解を伺います。

答 公立はまます保育園は冷房機器が未設置で、浜益区の高齢者施設は部分的な設置に

限定されているため今後どのような対策が適切か検討していきます。(保健福祉部)

中国の水産物禁輸による漁業者への影響は 国や道の支援策活用と漁協との連携等で対応

8月24日、政府は福島第1原発に貯留されている処理水の海洋放出を開始し、中国は放出日より日本産の全ての海産物輸入禁止措置を講じて

いますが、これによって本市の漁業者にも多大な影響が出ると予想されるため、市として今後の対応をどのように考えているのか見解を伺います。

答 本市漁業の主要魚種であるサケ、ニシン、ホタテなどの水産物は国内消費のほか海外にも輸

出されており、中国の輸入停止措置による影響が懸念されますが、今後も状況等を注視し、国

生労働省令によると救急告示医療機関の認定を受けるには医師や検査機器等に条件があるため当診療所では設備的にも基準を満たすことは難しいと考えています。(浜益支所長)

学校へのエアコン設置は教室の面積や気密性などから業務用機器が必要となり多額の事業費や大規模改修も予想されるため短期間での整備は難しいと考えていますが、来年を見据えた即効性のある対策を講じる必要があります。まずは保健室へエアコンを設置し、併せて事業費や工期圧縮方法など他自治体事例の研究を進めていきます。(生涯学習部)

や道が進める輸入停止への対応と水産業を守る支援策の活用を含め、石狩湾漁協と連携しながら対応について検討していきたいと思えます。(企画経済部)

その他の質問

- 福祉灯油の実施について
- 浜益区内幹線道路の安全灯と目印について
- 国保の子ども均等割負担について

一般質問

9月11日

改革市民会議

かみ むら さとし

上村 賢



録画映像配信 ▶



小中学校へのクーラー設置について

まずは保健室へのエアコン整備から

① 8月21日、花川南中学校の改修工事を視察した際、教室内の室温は31℃、湿度は71%で、とても集中して学習できる環境ではありませんでした。小中学校の教室にクーラーが必

要と思えますが、市の考えを伺います。

② 石狩管内の小中学校におけるクーラーの設置状況はどうなっていますか。

答 ① 市内学校施設への冷房設備については財政面や工期面などから短期間に整備することは難しいものの、即時的な対応として保健室へのエアコンの整備を進めるほか、今後、休業期間の見直しなど即応的な取り組みについて検討し、可能なものから実施していきます。

② 本市では小学校7校、中学校2校のパソコン教室など特別教室に冷房装置を設置しています。特別教室全体での設

置率は4・6%です。札幌市を除く石狩管内で学校に冷房装置を設置している自治体は本市を含め4市1町1村であり、最も設置率の高い市で普通教室は6・6%、特別教室は5・7%となっています。(生涯学習部)

介護人材について

技能実習制度の見直しを注視する

市では、北部地域の介護保険サービス事業者が新たに外国人技能実習生を受け入れる際に経費の一部を助成していますが、旧

石狩地区の介護事業者も人材不足が常態化しています。市内全ての介護事業者への支援が必要と考えますが、市の考えを伺います。

答 これまで介護人材の確保が特に困難な厚田区、浜益区並びに旧石狩市の右岸地域の事

業所に対し、外国人介護技能実習生の受け入れ等に係る費用の一部を補助してきましたが、

介護保険事業計画について

自立支援・重度化防止の周知に努める

① 国の介護保険報酬は今後、介護サービスによる自立支援・重度化防止の成果に応じて支払われるようになると同っています。来年4月より第9期の介護保険報酬改定を控え、市の「自立支援・重度化防止の準備状況を伺います。② 自立支援型の介護サービスの成果が可視化され介

護保険報酬に反映されると、市の介護保険費用が抑制されると考えますが、市の役割と、国の方向性に対する準備状況を伺います。③ 国の施策が従来型の「寄り添い型」から「自立支援型」となり、報酬にも反映されることについて、事業者への周知や今後の指導の考え方を伺います。

答 ① 厚生労働省が提供する科学的介護情報システムLIFEは、介護施設・事業所で記録しているサービス利用者の状態やケア内容のデータを収集・分析して、当該施設にフィードバックするものです。科学的根拠に基づく

介護の実践につながると期待されており、市も「自立支援・重度化防止」に向け、LIFEの利用促進に係る情報収集等を積極的に行う考えです。② 自立支援型介護とは日常生活を手助けする介護サービスとは異なり、本人の

介護スタッフは地域を問わず不足しており、人材確保は介護保険維持の観点から考えなければなりません。ただ今年4月には政府の有識者会議が技能実習制度を廃止して新たな制度への移行を求めるなど、見直しに向けた議論が進められており、補助の拡大は国の動向を注視しながら慎重な検討が必要だと考えています。(保健福祉部)

自立を促し、自分らしい生き方を実現するためのサポートです。本人の自己決定を尊重することが最も重要であり、ケアプランは本人の意思を確認しながら作成しなければなりません。今後、自立に向けたより効果的なケアプランのあり方について検討を進めます。③ LIFEの導入といった国が示す方向性や、それに連動する介護保険報酬の見直し内容について周知するとともに、自立支援・重度化防止に向け事業者への指導を進めていく考えです。(保健福祉部)

その他の質問

● あそびーち石狩のさらなるユニバーサル化について

一般質問

9月11日

石政会

かとう やす ひろ
加藤 泰博



録画映像配信 ▶



新交通システム導入について

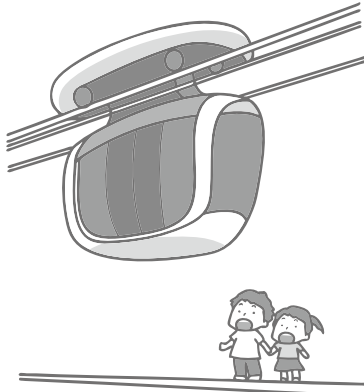
都市型ロープウエーの調査を実施中

①新たな公共交通として都市型ロープウエーの導入調査に乗り出すとの新聞報道がありました。委託先と調査内容、結果の出る時期を伺います。

②先進地を視察した市長の感想もお聞かせください。

答 ①調査事業の委託先は公募型プロポーザル方式により(株)日本総合研究所に決定し、7月に契約を締結しました。国内開発の都市型ロープウエー技術を活用した場合の事業採算性及び構築・運営における官民の役割などについて検討しており、調査期間は来年2月末となっています。

②7月中旬に(株)ジップラインフ



ラストラクチャー社が神奈川県秦野市に建設した都市型ロープウエー「ZIPPAR」の実証線を視察してきました。同社は曲がることのできるロープウエー技術を開発し、道路の上空にロープウエーを展開して都市空間に新たな価値を創出することを目指

しています。実装化に向けて開発が加速するのを期待す

るとともに、市の長年の課題である新たな公共交通の実

現に向けて歩みを進める考えです。(市長)

町の名称変更の考え方について

多面的な議論で合意形成を

右岸地区の高岡地区と五の沢地区の住所表示は八幡町高岡、八幡町五の沢となっています。地域では八幡町をつけない

「石狩市高岡」「石狩市五の沢」の住所表示を望む声がありますが、変更する考えはありませんか。

答 町の名称を変更するには、地方自治法第260条の規定により、議会の議決を経て、

基礎自治体の長がこれを定めて告示するという行政手続きが必要です。町の名称は地域

における歴史、文化、風土を伝承する上で重要であり、市民生活にも大きな影響があることから、多面的な議論が欠かせません。まずは、それぞれの地域における合意形成が優先されるものと考えます。(総務部)

道路敷地内の除草の考え方について

適期の除草で環境維持に努める

昭和40年代の後半から住宅地として造成された花川南地区は、道路の路肩部分が未舗装のままです。雑草が伸び、特に花川南9条から南10条にかけ

て目立ちます。市で年に1回、除草しているようですが、草刈りに協力できない高齢者も増えています。生活道路の除草について市の考えを伺います。

答 花川南地区では、その年の草の伸び具合などを見て、6月下旬から7月下旬までの間で年1回、路肩の草刈りを実施しています。花川南1条側からと南10条側からと隔年

で順番を入れ替えて作業しており、今年度は7月13日に南1条側からスタート、8月3日に完了しました。近年は花川南地区の空地も減少しており、現状の除草作業で一定程度

その他の質問

●市内小中学校の暑さ対策について

●農業の担い手確保の考えについて

一般質問

9月12日

公明党

えん どう のり こ
遠藤 典子



録画映像配信 ▶



学校施設全般の暑さ対策の強化について

他市好事例等を研究し 効果的な手法を検討

①今夏の猛暑で校舎内の温度が上昇し給食後に下校させるという臨時休校の措置が取られました。2学期開始以降、暑さで体調を崩したと思われる児童生徒はいましたか。

②各教室へのエアコン設置のほか、災害時に避難場所となる体育館について今後の暑さ対策の強化を市はどのように考えているのか伺います。

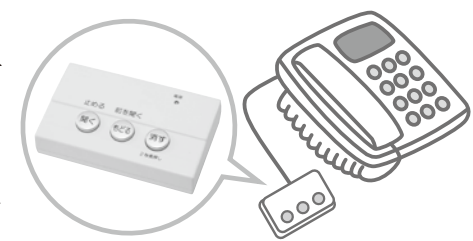
答 ①登校後に猛暑で頭痛などの体調不良を訴え保健室での休養や早退する児童生徒がいたことは承知していますが、入院が必要となるなどの重症例はありませんでした。

②全ての教室へ冷房を設置するとすると、空調機器の考え方や施設の長寿命化に係る大規模改修との一体的整備の

可能性など細かな検討が必要になってくるものと考えています。健康管理の面から即効性のある対応が求められており、今後の学校施設全般の環境整備については、引き続き設置率の高い自治体の情報を収集し、有効的な手法を検討していきたいと思います。
(生涯学習部)

特殊詐欺等被害防止対策事業について 次年度も機器貸与や周知啓発に取り組む

市は令和3年度から固定電話に接続することで着信時に警告音声流れ、自動録音する機器を65歳以上の方に無償貸与する事業に取り組みますが、対策機器の効果と啓発活動の評価について伺います。



▲市が貸し出している特殊詐欺等への対策機器

答 対策機器について行った利用者アンケートでは、不審電話が減少した、機器があることで精神的な不安が解消されたとの回答が多かったことから当機器は効果が大きい

ものと考えています。また、啓発活動は市ホームページや広報いしかり、町内会回覧や北海道新聞への掲載を実施し、昨年から今年にかけて1件の

すい臓がん早期発見にさらなる取り組みを 特定健診に市独自の検査項目の追加は困難

今年度から市の人間ドックの検査項目にすい臓がんの早期発見の手がかりとなる血清アミラーゼが追加されました

が、低額な自己負担でより多くの方が受診できるよう特定健診後期高齢者健診にも追加していただくことはできませんか。

答 後期高齢者を含む特定健診は国において検査項目等が定められ全国の保険者の統一的な実施が義務づけられて

いるため、市独自に特定の検査項目を追加することは困難なことから市としては疾病の早期発見に有用である人間

被害にとどまっている状況からこうした市の取り組みも特殊詐欺への抑止力になっているのではないかと認識しています。(環境市民部)

次年度も対策機器の無償貸与事業は継続されますか。また、申込期限を定めず必要なときに必要な人へ貸与することはできませんか。

再答 本事業は次年度も実施する予定であり、特殊詐欺はいつ起こるか分からない犯罪であることから随時貸与にも対応していきたいと考えています。
(環境市民部)

ドックの受診が肝要と考えており、引き続き受診意識の啓発と周知に一層努めていきたいと思っています。
(保健福祉部)

その他の質問

●不妊治療の先進医療に
対する助成について

一般質問

9月12日

日本共産党

やまざき さちこ

山崎 祥子



録画映像配信 ▶



補聴器助成制度の導入について

国の動向等を注視し検討を続ける

加齢性難聴は認知症発症の要因の一つと言われ、フレイル（虚弱）予防のためにも補聴器購入の助成制度が必要だと考えます。現在この制度を設けて

いる自治体は全国に191市町村あり、道内では20市町村が実施していますが、本市でも導入する考えはないか伺います。

【答】 加齢性難聴は、認知機能低下の要因の一つにもなると言われておりまして、必要な方が補聴器を付け、聞こえが良くなることで認知症予防の点で一定の効果があつたものと認識しております。市では補聴器の助成は本来国において持続的に手当てされるべきもので、難聴は高齢者に限った症状ではないため年代や介護度の制限がない制度設計であるべきと考え、全国市長会の障

がい者福祉施策に関する提言の中で継続要望を行っていますが、誰もが参加できる共生社会の実現を目指し、国の動向も注視しながら検討を続けていきたいと思つています。

（保健福祉部）

保育施設の体制充実について

適切な保育環境の維持に努める

①待機児童は0人と聞いていますが、希望する園や最寄りの園に入れないのは施設が足りていないのではないですか。また、現在の入所率はどうなっていますか。②自宅か

ら遠い施設では冬期送迎の不安から預けることをためらつてしまう場合もあります。保護者が希望する施設に入れるよう保育体制の充実を求めますがいかがですか。

【答】 ①9月1日現在の利用状況は市内合計で定員1050人に対し利用数は1091人で入所率は103.9%となつており、国

基準（120%）の待機児童は発生していない状況ですが、特定の保育所を希望し入所がかなわず待機となつても第2希望以下で入

物価高騰から市民の暮らしを守るために

国の検討内容を踏まえ支援事業に取り組む

①食料品やガソリン、電気など値上げラッシュが続く中、これからの冬に向けてさらに厳しさが増す市民生活に対し、市として国への財源要望も含め、どのような支援を考えているのか伺います。②プレミアム付

商品券の購入にはまとまったお金が必要で、生活が大変な世帯の利用には限りがあります。そこで商品券の利用対象にどんな所得層でも必需品となる市の指定ごみ袋を含むよう求めますがいかがですか。

【答】 ①物価高騰に対して現在、国では追加の経済対策が検討されており、市としてもその内容や状況等を踏まえ必要となる財源確保を要望しながら国の対策と歩調を合わせスピード感を持つて取り組んでいきたいと

思ひます。②商品券の取り扱いには1冊あたりの金額を5千円に設定したほか、複数冊希望者でも期間内に1冊単位で分割できる方法など購入しやすい取り組みも行ってきたところですが、市の指定ごみ袋は商品としての

所できるケースも多くあるため市全体でとらえると保育需要に対する供給量は充足しているものと認識しています。②保育所の増設は少子化の傾向を踏まえると既存施設の有効活用が基本と考えられており、利用定員を見直すなどニーズに合った保育の量的確保に努めます。また、本市では令和2年度から保育士等就職奨励金を支給し、市内保育所等での新卒採用を支援するなど人材確保に取り組んでいます。（保健福祉部）

代金ではなく、取扱店に市が定めるごみ処理手数料を支払うことでごみ袋の交付を受ける仕組みとなつているため、税金や公共料金と同様に利用対象外としています。（副市長）



▲30%のプレミアムが付いた
いしかり地域応援商品券

その他の質問

●子どもの貧困について

一般質問

9月12日

改革市民会議

かな や さとし

金谷 聡



録画映像配信 ▶



不登校児童生徒の居場所づくりについて 子どもたちが通いやすい環境整備を図る

①市は不登校児童生徒への支援策として適応教室ふらっとくらぶを開設しスクールソーシャルワーカーなどを配置して利用者や保護者の相談にも応じていますが、スタッフや部屋の数に限りがある中で、大勢での活動等が苦手な児童生徒への対応に改善の余地があるという声も聞かれることから支援員の増員や教室の増設を行う

【答】①ふらっとくらぶは近年通級生が増えており、現在の3人の職員体制では対応が難しくなっているため、職員の増員が求められる状況にあると認識しています。また、当くらぶは民間の建物を借り受けて、部屋は3つあり、現状で

考えはないか伺います。

②学校までは何とか通えるものの、教室でみんなと一緒に授業を受けることが困難な児童生徒には校舎内での居場所づくりとして特定の教室をあらかじめ不登校支援のための別室に決めておくことで、必要が生じた場合の対応がスムーズに進むと考えますが、市教委の見解を伺います。

は使い方を工夫しながら必要な活動ができていますと考えていますが、教室の増設は今後さらに通級希望者が増え、現在のスペースでは手狭な状態が続くと判断された場合には対応が必要になるものと考えています。

②全校一律の別室設置は難しいと考えますが、各校が別室での支援を求めるケースが

生じたときを想定して準備することは必要なことから、市教委として学校に対し要請等

本市の独居高齢者支援について

緊急通報サービス事業等を展開中

近年、高齢者世帯において独居の割合が増加し、健康や生活面で問題を抱える人が多く見られる中、神奈川県大和市はひとり暮らし支援条例を制定し、独居高齢者同士の交流の場の

提供や悩みの項目ごとに相談窓口がイラスト付きで分かりやすくまとめられた生活ガイドを作成配布していますが、本市でも取り組む考えはありますか。

【答】本市ではこれまでおひ

とり暮らし等安心登録サービス

厚田キャンプ場にシャワールーム設置を 課題等を整理し次年度に向け整備を進める

ジップラインや遊具などが設置されている厚田キャンプ場は、近年、予約システムも整備され市内外から家族連れなど多くの方々が訪れているほか、日本海側をツーリングする

ライダーたちの宿泊先としても好適な施設だと思いますが、利用者の利便性をより向上させるため場内にシャワールームを設置する考えはないか伺います。

【答】当キャンプ場は夏のピーク時には炊事場などに長蛇の列ができる状況が続いており、本年度に炊事場と水洗トイレの増設を行ったところです。ま

た、指定管理者による利用者アンケートでもシャワー施設を求める声が寄せられていることから、キャンプ場の水圧や排水の処理方法などの課題を整

を行っているかと思えます。
(教育長)

スと緊急通報サービス事業を行っているおり、高齢者の交流の場は生活支援コーディネーターの配置や集いの場マップの作成による情報提供に取り組んでいます。ガイドブックは独居者のみならず全高齢者に役立つものと考えられることから、先進事例等を研究し検討していきます。

(市長)

理し、次年度に向けて整備を進めていきたいと思えます。
(企画経済部)



▲厚田キャンプ場
(ジップライン)

その他の質問

- 電子図書とデジタルアーカイブについて
- スケートボードの練習場整備について

一般質問

9月12日

石政会

あお やま ゆう じ

青山 祐司



録画映像配信 ▶



町内会のあり方について

地域自治を担う重要な組織

①近年、町内会加入率の低下が全国的な問題となる中、市内には現在121の町内会があります。世帯加入率の推移と会員増に向けた取り組みを伺います。

伺います。

②宅地造成中の緑苑台西街区では新たな町内会が組織され、集会所開設の予定はあるのか伺います。

答 ①加入率の推移は令和3年度が66・1%、4年度が63・7%と減少傾向にあり、加入促進の取り組みは、北海道宅地建物取引業協会札幌北支部と協定を結び、住宅販売や賃貸契約の際に町内会への加入促進チラシを配布していただいているほか、市ホームページに加入手続きができるフォームを作成しています。

②当地区での新たな町内会設立は転入状況等を勘案しながら開発事業者や東地区町



▲町内会・自治会加入
申込みフォーム

こちらで受け付け後は、石狩市から該当の町内会・自治会の会長へ入力情報を提供し、申込者宛てに加入手続きのご案内をお願いしています。

内会と協議して対応し、会館建設は当該地区計画でコミュニケーション施設地区を設定していることから、旧水道施設の活用を含め検討したいと考えています。(環境市民部)

子どもの権利に関する条例について

今年度末をめどに内容等を議論検討

①(仮称)子どもの権利に関する条例は策定に向けて動き始めましたが、具体的な進捗よく状況を伺います。

②条例には子どもと大人が一

緒に参加し、本市の環境や地勢に即した実効性のある素案が出来上がってくることを期待しています。条例の内容について現在の市の考えを伺います。

答 ①本条例は検討委員会

……と市民ワークショップの開催を

緑苑台地区の中学校新設について

既存施設を活用し適正規模等を検討

①緑苑台小学校の卒業生は花川中学校に進学しますが、4kmにも及ぶ距離を通学に要するため、住民から中学校新設の要望が上がっています。また、西街区で宅地分譲が予定されており、子育て世帯の増加は容易に想定できることから市は緑

苑台地区での中学校設置の必要性をどのように考えているか伺います。②同地区の冬期通学には現在市がバス代の補助を行っていますが、支出に至った経緯と、保護者の一部負担を無くすることはできないか伺います。

答 ①当該地区での児童生徒数の将来推計は減少傾向が見込まれるため造成で生徒数が増加した場合でも中学校を新設する考えはなく、市教委では既存施設の有効活用を基本に学校の適正規模等を検討しますが、中学校設

置の必要性は今後の人口動態等を注視していきたいと思っています。

②平成13年度より当地区の開発事業者が無償で行っていた朝の登校バスは、24年度に運行廃止の申し出があり、協議の結果、保護者が1シーズ

今年度はあと3回ずつ予定し、委員会からは年度末をめどに方向性や内容等に関して提言をいただく予定となっています。

②条例の内容はこども基本法との整合性を念頭に先進事例も参考にしながら石狩らしさを感じられる条例にしたいと考えています。

(市長)

ン5千円を運行費用の一部として負担することで3カ年に限り継続することになりましたが、廃止を目前に控え保護者から27年度以降も運行を望む要請が市教委に寄せられたため同事業者の支援相当額を市が補助することで継続を図り、保護者負担は合意形成の上で据え置くこととしたものです。

(生涯学習部)

その他の質問

- 外国人の農地取得について
- 石狩湾新港での洋上風力発電建設工事について
- 石狩警察署設置要望の進捗について

一般質問

9月13日

公明党

あべ ゆ み こ
阿部 裕美子



録画映像配信 ▶



放課後児童クラブの環境整備を

次年度の実施に向け検討を進める

①北海道でも健康管理上、エアコンの設置は必須となり、特に放課後児童クラブは夏休みなどの一番暑い時期に長時間を過ごす施設となることから積極的に設置を進めるべきと考えますがいかがですか。

②子どもたちが使用するトイレは学校も含め洋式化が順次進められている中で、児童クラブには和式の方が多い施設もまだあるため洋式に変えてほしいとの声が聞かれますが、改修について考えを伺います。

答 ①真夏日が増加した今年度は扇風機等の簡易的な暑さ対策では子どもの健康面で不安が生じている状況であったため、クラブ室の冷房設備は必要であると認識しており、次年度設置について早急に検討します。

②市内に13カ所ある児童クラブのうち11カ所は洋式のみですが、2カ所は和式が残っており、市内の学校のトイレはほぼ



洋式化され和式トイレが使えない児童も一定数いることから、児童クラブでも次年度の実施に向けて検討していきます。
(保健福祉部)

町内会活動を維持するために

負担軽減策の情報共有等を図る

答 町内会や自治会はまちの発展や住民福祉での行政補完に加え、災害時での結束力

会員の加入率低下や役員となり手不足など、困り事を抱えている町内会がありますが、活動の維持に向け、町内会費の集

め方や回覧板の内容と回数等を見直すなど負担軽減につながるよう今後の町内会のあり方を検討する考えはありませんか。

發揮など重要な役割を担っている組織と認識する一方で、近年その環境は大変厳しい状

石狩市の景観づくりについて

市民との協働事業継続に努める

①市内の沿道の花は町内会等のボランティア活動によつて支えられてきましたが、高齢化や人手不足で花の手入れなどから撤退した地域については今

後どのように対応していくのか伺います。②ボランティアから手を離れたエリアを将来的に市が携わることについて考えを伺います。

答 ①地域から手が離れた植樹帯の管理については花川地区の花いっぱい運動等で植栽されている割合が約7割で、残る3割は年2回の草刈りで対応しているところですが、今後同様の作業で道路環境を維持していきます。

②花いっぱい運動は市民との協働により道路景観の形成と考えるています。(建設水道部)



▲花いっぱい運動

況にあると感じていますが、市内の町内会の中にはLINEによる回覧板の伝達や会費を総会時に一括集金するなど役員負担軽減を図っている所もあるため、こうした新たな取り組みの情報を共有しながら町内会が活動を持続し発展していけるよう共に協力していきたいと思っています。
(市長)

その他の質問

- 高齢者の運転免許証自主返納への特典について
- 高齢者等紙おむつ給付事業について

一般質問

9月13日

石政会

やまもと けんじ

山本 健司



録画映像配信 ▶



本市の企業誘致活動について

新たな地域価値創出等を目指す

新港地域の土地利用は本年、都市計画の見直しにより大型商業施設の建設も可能となり、北海道を訪れた際には石狩市にどうしても寄りたくなるよ

うな道内初や日本初となる娯楽遊園施設等の誘致を強く要望しますが、今後どのような誘致を考えているのか伺います。

【答】 市では新港地域には新たに就業者の福利厚生やレクリエーション機能のほか来訪者と市民との広域的な交流の場となる複合的な機能の配置を目指し、他の地域では得ることのできない独自性の高い地域価値の提供や、本市の魅力向上に資するエリアづくりなど時代の要請に応じた柔軟な土地利用を推進すべく、誘致活動を展開していきたいと考えています。



▲石狩湾新港地域(石狩湾新港管理組合 提供画像)

障がいがある児童生徒のスキー学習について

本人等の要望を踏まえ参加機会確保に努める

① 樽川中学校では障がいを持つ生徒も安全円滑に学校生活が行えるようエレベーターの設置が進められているところですが、下肢に障がいがある生徒はスキー学習にはどのように参加しているのか伺います。

行うシットスキーやバイスキーパーを購入して希望する学校への貸出のほか、指導ボランティアの派遣などスキー学習への参加支援を行っており、障がい者スポーツ振興の観点から本市も取り組むべきと考えますが見解を伺います。

【答】 ①下肢に障がいのある児童生徒のスキー学習は本人や

保護者からの意向等を踏まえ個別に対応しており、今後も

市内小中学校の気温対策について

休校など適切に対応する

保健室への冷房整備はもちろんですが、児童生徒は猛暑の中で授業を受けており、体調不良になってからでは遅いのです。熱中症にならないために欠席する児童生徒も多かったという話も聞いています。エアコン設置は保健室だけではなく、全ての普通教室にも要望します

が、早期の取り付けが難しいのであれば、熱中症警戒アラートが出た場合はコロナ禍のときのように学校間で足並みをそろえ振り替えで休暇を設けることや、夏休みと冬休みの日数調整などで対策を図ることは可能なのか伺います。

【答】 猛暑による臨時休業などの措置に際しては、保護者不在の場合の家庭での熱中症

の懸念や、最も気温が高くなる時間帯での下校に伴うリスクなどさまざまな要素を考慮

児童生徒の安全確保を最優先にしながら授業に参加できる機会の確保に努めます。

② 現時点ではシットスキー等の要望は聞き及んでいませんが、実施にあたっては用具や指導者の確保が課題となることから、まずは今後ニーズが伝えられた場合は他自治体の取り組み等も参考に検討する必要がありますと考えています。

(生涯学習部)

する必要がありますが、臨時休業の措置に加え、授業日と休業日の振り替えや、夏休みと冬休みの休業日数の変更は制度上可能となっており、今後、学校と調整を図りながら適切に対応していきたいと思っています。

(生涯学習部)

その他の質問

●一次産業の現状認識

●一般海域の洋上風力発電について

●母子健康手帳の電子化について

一般質問

9月13日

無所属
〔「やさしい社会」をつくる市民の会〕

くましろ ちかこ

神代 知花子



録画映像配信 ▶



本市の洋上風力発電について

事業実施に伴う環境保全に努める

現在、国は洋上風力発電の環境アセスメント制度のあり方を再検討していますが、本市はこの見直しを待たずに一般海域の促進を進めていくのか考えを伺います。

答 国では有識者による検討会での結果を踏まえ環境影響評価制度の改正を進めていくものと考えていますが、本市としても国の動向を注視していくとともに新制度の運用後においても事業の実施に伴う環境保全の適正化のため自治体としての役割を果たしていきたいと思います。
(環境市民部)

日本風力開発による贈賄で衆議院議員が逮捕され、同社は石狩湾沖でも計画を進めており、他自治体では首長の撤退申し入れが報道されていますが石狩市長としてどう判断されるのか伺います。

再答 事件は司法当局が判断するもので事実関係を承知せずに他自治体にならない外形的に行うことよりも、今後促進区域に選定されて事業を公募するときにどうなるかという次の段階での問題だと思っています。
(市長)

カーボンニュートラル施策と

生物多様性地域戦略について

共生の概念に基づきバランスを取りながら

両立実現を目指す

①現在市が自然保全よりも経済的メリットが多い再エネを推進する中、まずは市域の森林等が吸収できる量を地球温暖化推進計画に明記すべきで再エネ増によりCO₂排出量を相殺できるかのようにも書かれています。北海道電力とのF-T契約の再エネ発電量は市域の排出量減として含めないため域外にしか貢献できず、地産地活の仕組みづくりこそ計画に入れるべきではありませんか。②保全区域に指定されていない民有地での再エネ建設計画はありますか。風力発電ゾーニング計画は保全区域を市自らが情報提供するなど整合性が取れておらず希少鳥類等の生息確認エリアは保全区域にしていくべきですがゾーニング見直しを検討するか伺います。③アカモズの生息地に近い海浜草原などに太陽光発電等が建設されており環境課は保全のモニタリングを行って生息マップを作成し、現在小型風車に限定されているガイドラインは再エネ発電施設も含め建設除外区域とする内容に改訂すべきではありませんか。④どんな企業と事業を進めていきたいかを公表するため、市独自の認証制度を作り再エネ事業者から環境まちづくり基金に寄付を受け、それを民有地買い上げや市民活動の原資とするなど事業者の地域貢献を求めるべきと考えますが、いかがですか。

答 ①京都議定書に基づきCO₂吸収量を報告できる森林は適切に間伐等が行われている森林とされているため地域の未整備の森林をCO₂吸収源として量を明記することはできないと考えています。また、再エネの地産地活プロジェクトについては地球温暖化対策推進計画に盛り込む予定で

す。②本市風力発電ゾーニング計画は出力千kW以上の風車を対象に環境保全優先エリアと風力発電導入可能エリアを段階的に設定し風力発電の適地誘導を図ることと人と暮らしや産業、自然が調和した持続可能な地域社会の構築を目指すもので、自然保護を優先し再エネを排除することを目的としていないため、再エネ事業者の土地規制のためにゾーニング計画を見直す考えはありません。③本市のガイドラインは千kW未満の小型風車を対象に経済産業省が定めるガイドラインを補完する形で事業者が遵守すべき基準を設定し地域の安全確保を図ることを目的としており、他の再エネ事業も対象に含めガイドラインを改正するという考えは現時点ではありません。④地域貢献の取り組みは寄付に限らずさまざまな形があり、事業者の意思が尊重されるべきものと考えており、市独自の認証制度についても作る考えはありません。

(環境市民部)

委員会活動だより

各委員会が7月～9月に審査した議案などをお知らせします。

総務常任委員会

防災、総合計画、農林漁業、新港企業、観光、予算、市税などを審議します。

左から委員 伊藤一治 片平一義 遠藤典子 山田敏人 蜂谷高海



副委員長 神代知花子

委員長 日下部勝義

○主な調査項目

- ・ 現地調査について(米麦乾燥調製貯蔵施設、石狩湾新港)
- ・ 石狩市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実績報告について
- ・ オンデマンド交通の実証運行について
- ・ 石狩市財政運営指針に定めた指標に係る令和4年度実績について
- ・ さっぽろ連携中枢都市圏ビジョンの改定について
- ・ 浜益国民健康保険診療所の新たな診療方針について
- ・ 所管事務調査(北海道新幹線のトンネル工事に伴う発生土の中間処理について)

※所管事務調査とは、各委員会が自主的にその委員会が所管する事務について行う調査のことです

厚生常任委員会

環境、ごみ・リサイクル、町内会、子育て、高齢者・障がい者福祉などを審議します。

左から委員 青山祐司 山本健司 阿部裕美子 松本喜久枝



副委員長 金谷聡

委員長 加藤泰博

○主な調査項目

- ・ 石狩市高齢者世帯等福祉除雪サービス事業の見直しについて
- ・ 現地調査について(北石狩衛生センター、リサイクルプラザ、こども未来館あいぽーと、ふれあいの杜子ども館)
- ・ 令和4年度一般廃棄物処理実績について
- ・ 令和5年度全国高等学校総合体育大会「インターハイ」ソフトボール競技大会の開催報告について
- ・ (仮)石狩市生物多様性地域戦略「いしかり生きもののかげはしビジョン」について
- ・ 所管事務調査(子ども食堂の現状と課題について)

建設文教常任委員会

道路維持、公園、公営住宅、除雪、上下水道、学校関係、図書館などを審議します。

左から委員 山崎祥子 鈴木圭一 山本由美子



副委員長 上村賢

委員長 高田静夫

○主な調査項目

- ・ 学校給食における米飯の提供不能について
- ・ 現地調査について(学校給食センター、花川南中学校、花川通延伸工事現場)
- ・ 令和5年度工事発注状況及び予定表について
- ・ 石狩市公民館樽川分館の廃止に係るパブリックコメントの実施について
- ・ 令和6年度に使用する小・中学校用教科用図書の採択について

議会運営委員会

第3回定例会までに届けられた意見書については次のような結果になりました。

意見書名	審議結果
生物多様性の保全・ネイチャーポジティブの対策の強化を求める意見書(案)	本会議提案
ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書(案)	本会議提案
ブラッドパッチ療法(硬膜外自家血注入療法)に対する適正な診療上の評価等を求める意見書(案)	本会議提案
国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書(案)	審議未了
現行の健康保険証の存続を求める意見書(案)	審議未了
核兵器禁止条約への参加・署名・批准を行うことを求める意見書(案)	審議未了
国立病院の機能強化を求める意見書(案)	審議未了

※意見書については、議会運営委員会で審議し本会議で議決します

※審議未了とは、議会の会議に付託された議案等の案件が当該会期中に決着せず、継続審査の決定もされずに会期を終えるに至った場合のことです

決算特別委員会

全議員(議長と監査委員除く)が委員の決算特別委員会で令和4年度決算の審査を行いました。

開催日	審査部局
10/4(水)	総務常任委員会所管部局(財政部、会計管理者、総務部、選挙管理委員会事務局、監査・公平委員会事務局、議会事務局、厚田支所、浜益支所、企画経済部、農業委員会事務局)
10/5(木)	厚生常任委員会所管部局(環境市民部、保健福祉部)
10/6(金)	建設文教常任委員会所管部局(建設水道部、教育委員会)

定例会開催予定

次回の第4回石狩市議会定例会は11月30日(木)から開催を予定しています。

表紙の団体「石狩アマチュア無線クラブ」

昭和54年に創立し、20名が所属。不定期に美登位創作の家で移動運用を行い全国に石狩市をPRしているほか、無線機とパソコンを接続したデジタル通信にも挑戦しています。

問合せ 代表 寺門さん ☎090-1388-7739

■8月発行の215号において「一部事務組合派遣議員等一覧」の「石狩教育研修センター組合」への派遣議員が「松本喜久枝議員」になっていましたが、正しくは「神代知花子議員」でした。訂正しお詫びいたします。

議会広報特別委員会

委員長	金谷 聡
委員	青山 祐司
委員	鈴木 圭一
委員	山本 健司
委員	山本 美子
委員	山崎 祥子

「暑い」「暑い」とばやいていたら、突然、暖房が恋しい朝が来てしまいました。

8月の暑さは異常で、札幌管区気象台のデータによると最高気温が30度を超えた日が昨年の1日に比べ今年は22日間。最高気温36.3度(8月23日)は観測史上最高を記録したそうです。

エアコンの稼働も増え、高くなった電気料金を気にした家庭も多かったに違いありません。

訪れる雪の季節。降雪量が史上最高なんてことにならないよう祈るばかりです。

最後に、どうしても触れておかなければならない事があります。元同僚議員の不祥事です。マスメディアに報じられ、怒りと同時に肩身の狭い思いをされた市民の皆さまも多かったと思います。

元同僚として市民の皆さまにお詫び申し上げるとともに、一層気を引き締め、市民の皆さまの負託に応えるべく努力してまいります。

(祐)

編集の窓

☆市議会だよりをご覧くださいありがとうございます。皆さまのご意見、ご感想をぜひお聞かせください。

石狩市議会の会議録をご覧ください

2次元バーコードから石狩市議会定例会と臨時会の会議録が閲覧できます。または市役所ホームページから右側の石狩市議会をクリックし、会議録検索をクリック!



ERIS 議会の情報は「えりす いしかりネット テレビ」でもご覧いただけます!

